

研究協力をお願い

2005 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの間で、福井赤十字病院外科で、
胆嚢癌の手術を受けられた患者さんはご覧ください。

福井赤十字病院は、京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科と下記の医学系
研究の共同研究を行います。

研究の対象となる方や、研究の目的、研究の方法は以下の通りです。カルテより
えられた患者さんの情報を用いて研究します。

皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

もし、ご自身のカルテの情報を研究に使用すること、ご許可いただけない場合は下
記にご連絡ください。その場合、研究に使用しません。その場合もあなたには最善
と考えられる治療を続けます。

研究課題名

偶発胆嚢癌に対する多機関共同後ろ向きコホート研究

研究の対象となる方

2005 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの間で、福井赤十字病院外科で、
胆嚢癌の手術を受けられた患者さん

研究期間

研究実施機関の長の許可日から 2025 年 3 月 31 日まで

研究の目的

「偶発胆嚢癌」とは、良性疾患（胆石、胆嚢炎などの癌でない病気）と手術前に診断された
が、手術の後に、胆嚢癌と診断された疾患です。

偶発胆嚢癌の患者さんは非常に少ないです。そのため、どのような経過をとられるか、よく分かっ
ていません。そのため、京都大学医学部附属病院、福井赤十字病院など多くの医療機関が共同
で、偶発胆嚢癌の患者さんの、手術後の経過などを明らかにしたいと考えています。

その結果、今後の偶発胆嚢癌の患者さんの治療に役立てたいと考えています。

研究の方法

対象となる患者さんの診療情報をデータベースやカルテより取得します。

生存に関する事項を統計学的に解析し、手術の方法と予後との関連について検討します。

患者さんの情報の収集・解析は京都大学医学部附属病院肝胆膵・移植外科が担当します。

研究に用いる情報

カルテやデータベースより取得する情報は、以下の通りです。

年齢、性別、入退院日、手術日、

血液検査所見、CT や MRI などの画像検査の所見、

手術の所見、病理組織検査の所見、

合併症の有無とその内容、

研究期間内における診察時の病状（再発の有無や生命予後）

などです。

個人が特定できないように、お名前、住所、生年月日などの情報は削除して検討いたします。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧していただくことが出来ます。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象とはしません。下記の連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんには今まで通り最善の医療を受けていただくことが出来ます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

所属：福井赤十字病院 外科 土居 幸司

住所：918-8501 福井市月見2丁目4番1号 電話番号：0776-36-3630

研究機関名（研究機関長名）と研究責任者名

1) 主研究機関：

京都大学医学部附属病院 （高折 晃史）

研究代表者 肝胆膵・移植外科 助教 楊 知明

2) 共同研究機関：

日本赤十字社 福井赤十字病院 （小松 和人）

研究責任者 外科 部長 土居 幸司

研究分担者 外科 副部長 加藤 成、池野 嘉信

京都医療センター

研究責任者 外科 医長 中村 公治郎

大阪赤十字病院

研究責任者 消化器外科 部長 森 章

倉敷中央病院

研究責任者 外科 部長 増井 俊彦

京都桂病院

研究責任者 消化器センター・外科 部長 福光 剣

滋賀県立総合病院

研究責任者 外科 医長 佐藤 朝日

小倉記念病院

研究責任者 外科 主任部長 藤川 貴久

大津赤十字病院

研究責任者 外科 医長 北口 和彦

天理よろず相談所病院

研究責任者 消化器外科 部長 待本 貴文

兵庫県立尼崎総合医療センター

研究責任者 消化器センター外科・消化器外科 部長 北村 好史

神戸市立医療センター中央市民病院

研究責任者 外科・移植外科 医長 成田 匡大

日本赤十字社和歌山医療センター

研究責任者 消化器外科 主任部長 安近 健太郎

神戸市立西神戸医療センター

研究責任者 外科・消化器外科 医長 畑 俊之

医学研究所北野病院

消化器センター・消化器外科 主任部長 寺島 宏明

島根県立中央病院

外科・消化器外科 部長 岩崎 純治